

# 小・中・高校生たちの 福祉学習の手引き



ふ くだんの  
く ぐらしを  
し しあわせに  
他人ごとから自分ごとに  
共に歩む地域社会へ



# 目 次

---

◇福祉学習の目的	1
◇小学校編	2
車いす講話編・介助編・視覚障がい者講話編・中途障がい者講話編	2
視覚障がい者介助編・点訳編・手話編	3
認知症サポーター養成講座編・障がい者スポーツ編	
地域福祉を知ろう「ほっとかへん！すごろく」編	4
◇中学校編	5
車いす講話編・視覚障がい者講話編・中途障がい者講話編・手話編	5
手話編・障がい者スポーツ編・認知症サポーター養成講座編	6
◇高校編	7
車いす講話編・視覚障がい者講話編・中途障がい者講話編・手話編	7
手話編・認知症サポーター養成講座編・障がい者スポーツ編	8
◇申込方法と締切日程について	9

# 福祉学習の目的

## 1. 福祉（ふくし）とは・・・

よく「福祉」とは「ふだんの 暮らしの しあわせ」といいます。

福祉の「福」も「祉」もどちらの字も「しあわせ」という意味です。

『福』は幸福などに用いられるように、心の「しあわせ」、『祉』は「めぐりあわせ」や「機会」、また、「しあわせ」のためにそれぞれの人が力や知恵を出し合う「仕合せ」という意味があります。

つまり、「福祉」とは「人を幸せにすること」なのです。なにを幸せと感じるかは一人ひとり違うもので、誰もが「自分の幸せ」を願っています。だからこそ「他の人の幸せ」も大切にすることが求められます。一人ひとりが幸せに暮らしていけるよう、自分のことだけでなく、他の人を大切に、一緒に支え合って共に生きていくことが「福祉」といえるでしょう。

## 2. 福祉教育の考え方・・・

私たちの地域で誰もが幸せに暮らしていくためには何をしたらいいか。課題に気づき、それを解決していくためにはどのようにすればいいのか。そのことを様々な人と共に考え、実際に行動するための力を育むことが**福祉教育**です。

また、個人ではなく、様々な人と共にその課題解決に向け考えていくことで、人と人との関わりについて考えるきっかけとなります。大切なのは障がい者、高齢者といった「対象を定める」のではなく、「自分ごと」とすることです。「自分ごと」とすることで、「他人ごと」という考えではなく、自分の身近な課題として意識してもらうことにつながります。

## 3. 地域と福祉教育・・・

自分たちの住む地域や暮らしという身近にあるものをテーマとし、自分たちの地域について調べ、知っていくと地域の課題（社会福祉問題）等に気づいていきます。

このことから『自分の地域をよくしていこう！』と考えたとき、福祉教育はその有効な手段となります。

また、地域に暮らす障がいのある人や高齢者を含めた様々な人々と関わることを通して、子どもたちはコミュニケーションの力を高め、多様な生き方にふれ、命の大切さ、思いやりの心、相手を理解しようとする豊かな心をしっかり育みます。

## 4. 福祉教育活動の目的・・・

福祉教育は人との出会いとふれあい体験を通して、他者の立場や心情を思いやり、互いの支え合う心や姿勢、「共に生きる力」の形成を養うことにつながります。

さらに子どもたちは地域の中で福祉を考え、交流することで地域の人から感謝されたり、大切に思われていることを実感し、**自己肯定感**や**自己有用感**を積み重ねていくことができます。

## 5. 福祉教育を通じて・・・

ひろく「ふくし」を学ぶことで、クラスや地域の中においても、お互いを認め合い排除しない仲間作りへとつながっていきます。

子どもたちが学び（体験学習のプロセス）を通して変わること、大人や地域も共に学び、変わることができると考えています。

- |  |
|--|
| 1. 気づき（なぜかな？と思う力）、2. 考える（追い求める力）<br>3. 表現する（アピールする力）、4. 振り返る（続けて振り返る力） |
|--|

児童・生徒が、障がいのある人に出会って関わりを持つとき、多くの場合において自分の認識を新たにすること（気づき）があります。そして、児童・生徒は、さまざまな体験を通して、気づき、考えることを学びます。相手と相互に理解するためには、「どのように関わっていくか」ということを考えることが重要です。

# 令和5年度版「福祉学習プログラム」一覧(小学校編)

## 福祉学習の理念：「人づくり＝まちづくり」

- 命の大切さを知る
- 共に生きることへの気づき
- 支え合う住みよいまちをつくろうとする人・まち・モノづくり
- ふ・く・し = 他人ごとを自分ごととして捉える人づくり

### 1 車いす利用者のお話(講話型)

内容⇒車いす利用者の体験談を織り交ぜながら障がい者理解を深める。

時間の目安⇒**45分**

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要な場合があります。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 2 車いす介助編(体験型)

内容⇒施設介護職員の体験や注意点など車いすを使用した疑似体験を通じて障がい者の理解やバリアフリーについて深めます。

(1)車いす操作の基本を学ぶ(2)実際に操作する(3)ふり返り(気づき)

時間の目安⇒**90分**(1クラス)

※2クラス分を申込みの場合は180分必要です。(例1~4限もしくは3~6限)

準備物⇒車いす(社協で貸出しています。)原則15台までです。

15台以上のご相談ください。

※サポーターとの校内のコース作成の事前打ち合わせが必要です。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 3 視覚障がい者のお話(講話型)

内容⇒視覚障がいの体験談を織り交ぜながら障がい者理解を深める。

時間の目安⇒**45分**

準備物⇒福祉学習サポーターの送迎が必要な場合があります。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 4 中途障がい者のお話(講話型+体験型)

内容⇒レクリエーションを通じて障がい者理解を深め、自分たちに何ができるのかを考える機会とする。

時間の目安⇒**45分**(1クラス)

準備物⇒体育館など広いスペースが必要です。

※階段の利用がしにくい障がい者が行うので2階以上の開催不可

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

## 5 視覚障がい者介助編(体験型：ガイドヘルパー)

内容⇒アイマスクを使用し、疑似体験を通じて視覚障がいについて理解する。

(1)視覚障がい者を支援するガイドヘルパーの意義・役割についてのお話。

(2)視覚障がい者の体験談+アイマスク体験+視覚障がい者ガイドヘルプ体験

(3)ふり返し

時間の目安⇒**90分**(1クラス)

※2クラス分を申込み場合は180分必要です。(例1~4限もしくは3~6限)

準備物⇒アイマスク(2人で1つ必要、社協で貸出しあり)

※開催中は、危険防止のため2名以上の先生の付き添いをお願いします。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

## 6 点訳編(講義+体験型)

内容⇒(1)視覚障がい者を支援する点訳ボランティア活動の意義・役割についてのお話。

(2)点訳体験、(3)ふり返し

時間の目安⇒**90分**(1クラス)

※2クラス分を申込み場合は180分必要です。(例1.2限⇒1組、3.4限⇒2組)

準備物⇒点字器(1人に1つ必要、社協で貸出しあり)

資料と点字用紙が必要です。資料及び点字用紙はサポーターで

準備します。(1人あたり40円、終了後に請求書をお渡しします。)

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

※開催は月末月始以外でお申し込みください。

## 7 手話編2回コース(講義+体験型)

内容⇒(1)聴覚障がい者を支援する手話等、ボランティア活動の意義・役割についてのお話。

(2)聴覚障害者とのコミュニケーション方法について(手話体験)

(3)ふり返し

時間の目安⇒**90分**(1クラス)

※2クラス分を申込み場合は180分必要です。(例1~4限もしくは3~6限)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

補助をお願いします。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

※事前打ち合わせが必要です。開催は(金)以外でお申し込みください。

## 8 手話編3回コース(講義+体験型)

内容⇒2回コースと同様です。

時間の目安⇒**135分**(1クラス)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

補助をお願いします。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

※事前打ち合わせが必要です。開催は(金)以外でお申し込みください。

## 9 認知症サポーター養成講座(講義型)

内容⇒(1)認知症や認知症になった人について理解を深める。  
(パワーポイント・講義・DVD など)

時間の目安⇒**45分**(1クラス)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

負担費用など⇒特になし。

※事前に市役所地域福祉高齢課との打ち合わせが必要です。

## 10 障がい者スポーツ編(講義+体験型)

内容⇒体験談やパラスポーツを通じて、障がい者の理解と交流を深める。

(1)当事者からのお話、(2)パラスポーツを通じて交流

(3)ふり返り

時間の目安⇒**90分**(1クラス)

準備物⇒体育館などの広いスペースが必要です。

卓球台が必要な場合があります。

負担費用など⇒特になし。

※事前に障がい者福祉センターキタバあかみねとの打ち合わせが必要です

## 11 地域福祉を知ろう「ほっとかへん!すごろく」

内容⇒すごろくゲームを通じて、地域福祉活動の理解を深める。

(1)ふ・く・して何だろう? (2)すごろくを通じて体験

(3)ふり返り

時間の目安⇒**45分**(1クラス)~

準備物⇒ほっとかへんすごろく

対象学年⇒3・4・5・6年生

負担費用など⇒特になし。

※事前に社会福祉協議会担当職員との打ち合わせが必要です

※福祉学習サポーターとは地域住民の福祉教育を支援する登録ボランティアです。

# 令和5年度版「福祉学習プログラム」一覧(中学校編)

## 福祉学習の理念：「人づくり=まちづくり」

- 命の大切さを知る
- 共に生きることへの気づき
- 支え合う住みよいまちをつくろうとする人・まち・モノづくり
- ふ・く・し = 他人ごとを自分ごととして捉える人づくり

### 1 車いす利用者のお話(講話型)

内容⇒車いす利用者の体験談を織り交ぜながら障がい者理解を深める。

時間の目安⇒**50分**

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要な場合があります。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 2 視覚障がい者のお話(講話型)

内容⇒視覚障がいの体験談を織り交ぜながら障がい者理解を深める。

時間の目安⇒**50分**

準備物⇒福祉学習サポーターの送迎が必要な場合があります。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 3 中途障がい者のお話(講話型+体験型)

内容⇒レクリエーションを通じて障がい者理解を深め、自分たちに何ができるのかを考える機会とする。

時間の目安⇒**50分**(1クラス)

準備物⇒体育館など広いスペースが必要です。

階段の利用がしにくい障がい者が行うので2階以上の開催不可  
負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 4 手話編2回コース(講義+体験型)

内容⇒(1)聴覚障がい者を支援する手話等、ボランティア活動の意義・役割についてのお話。

(2)聴覚障害者とのコミュニケーション方法について(手話体験)

(3)ふり返り

時間の目安⇒**100分**(1クラス)

※2クラス分を申込む場合は200分必要です。(例1~4限もしくは3~6限)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

補助をお願いします。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

※事前打ち合わせが必要です。開催は(金)以外でお申し込みください。

## 5 手話編3回コース(講義+体験型)

内容⇒2回コースと同様です。

時間の目安⇒150分(1クラス)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

補助をお願いします。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

※事前打ち合わせが必要です。開催は(金)以外でお申し込みください。

## 6 障がい者スポーツ編(講義+体験型)

内容⇒体験談やパラスポーツを通じて、障がい者の理解と交流を深める。

(1)当事者からのお話、(2)パラスポーツを通じて交流

(3)ふり返り

時間の目安⇒100分(1クラス)

準備物⇒体育館などの広いスペースが必要です。

卓球台が必要な場合があります。

負担費用など⇒特になし。

※事前に障がい者福祉センターキタバあかみねとの打ち合わせが必要です。

## 7 認知症サポーター養成講座(講義型)

内容⇒(1)認知症や認知症になった人について理解を深める。

(パワーポイント・講義・DVDなど)

時間の目安⇒50分(1クラス)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

負担費用など⇒特になし。

※事前に市役所地域福祉高齢課との打ち合わせが必要です。

※福祉学習サポーターとは地域住民の福祉教育を支援する登録ボランティアです。



# 令和5年度版「福祉学習プログラム」一覧(高校編)

## 福祉学習の理念：「人づくり=まちづくり」

- 命の大切さを知る
- 共に生きることへの気づき
- 支え合う住みよいまちをつくろうとする人・まち・モノづくり
- ふ・く・し = 他人ごとを自分ごととして捉える人づくり

### 1 車いす利用者のお話(講話型)

内容⇒車いす利用者の体験談を織り交ぜながら障がい者理解を深める。

時間の目安⇒**50分**

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要な場合があります。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 2 視覚障がい者のお話(講話型)

内容⇒視覚障がいの体験談を織り交ぜながら障がい者理解を深める。

時間の目安⇒**50分**

準備物⇒福祉学習サポーターの送迎が必要な場合があります。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 3 中途障がい者のお話(講話型+体験型)

内容⇒レクリエーションを通じて障がい者理解を深め、自分たちに何が  
できるのかを考える機会とする。

時間の目安⇒**50分**(1クラス)

準備物⇒体育館など広いスペースが必要です。

階段の利用がしにくい障がい者が行うので2階以上の開催不可

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

### 4 手話編2回コース(講義+体験型)

内容⇒(1)聴覚障がい者を支援する手話等、ボランティア活動の意義・役割に  
ついてのお話。

(2)聴覚障害者とのコミュニケーション方法について(手話体験)

(3)ふり返り

時間の目安⇒**100分**(1クラス)

※2クラス分を申込み場合は200分必要です。(例1~4限もしくは3~6限)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

補助をお願いします。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

※事前打ち合わせが必要です。開催は(金)以外でお申し込みください。

## 5 手話編3回コース(講義+体験型)

内容⇒2回コースと同様です。

時間の目安⇒150分(1クラス)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

補助をお願いします。

負担費用など⇒福祉学習サポーターへの交通費等

※事前打ち合わせが必要です。開催は(金)以外でお申し込みください。

## 6 認知症サポーター養成講座(講義型)

内容⇒(1)認知症や認知症になった人について理解を深める。

(パワーポイント・講義・DVDなど)

時間の目安⇒50分(1クラス)

準備物⇒スクリーンとプロジェクターの設備が必要です。

負担費用など⇒特になし。

※事前に市役所地域福祉高齢課との打ち合わせが必要です。

## 7 障がい者スポーツ編(講義+体験型)

内容⇒体験談やパラスポーツを通じて、障がい者の理解と交流を深める。

(1)当事者からのお話、(2)パラスポーツを通じて交流

(3)ふり返り

時間の目安⇒100分(1クラス)

準備物⇒体育館などの広いスペースが必要です。

卓球台が必要な場合があります。

負担費用など⇒特になし。

※事前に障がい者福祉センターキタバあかみねとの打ち合わせが必要です。

※福祉学習サポーターとは地域住民の福祉教育を支援する登録ボランティアです。

## 令和5年度版

# 「福祉学習プログラム」依頼書の提出締切日程について

## 1. 申込方法

- ①実施希望日の2ヶ月前までに、様式①-1、①-2を社協へメールまたはFAXで申し込みを行います。
- ②実施希望月の1ヶ月前までに福祉教育サポーターと調整し学校へ連絡します。
- ③実施する2週間前までに福祉学習サポーターへ連絡し、詳細事項等、事前打ち合わせの調整をお願いします。

### 申込方法の流れ

流れ①学校→社協、②社協→学校、③学校→福祉学習サポーター

※締切を過ぎての提出があった場合や、希望時期が集中した場合など、全体の調整が遅れる場合があります。

## 2. 依頼書の提出締切日について

依頼書(詳細)…様式①-1、①-2の提出締切日：下表のとおり。

※実施希望月の2ヶ月前までです。但し例外(※印)があります。

実施希望月	締切日
9月・10月	8月1日(火)
11月	9月1日(金)
12月	※10月2日(月)
1月	11月1日(水)
2月	※12月4日(月)
3月	※1月5日(金)

もし、提出期限が過ぎてしまった場合でも一度ご相談ください。  
可能な限り調整させていただきます。(TEL：0721-65-0133)

# 令和5年度版「福祉学習の支援」依頼書(詳細)様式①ー1

提出締切日は「手引きP.9」を参照してください。

小学生用

授業時間をご記入ください(必要な部分のみで結構です)

学校名	
電話番号	
FAX番号	
記入者のご氏名	

1時間目	( )時( )分～( )時( )分
2時間目	( )時( )分～( )時( )分
3時間目	( )時( )分～( )時( )分
4時間目	( )時( )分～( )時( )分
5時間目	( )時( )分～( )時( )分
6時間目	( )時( )分～( )時( )分
7時間目	( )時( )分～( )時( )分

プログラム番号	
プログラム名	

## ▼学年単位で実施のプログラム

担当教員のご氏名	学年、クラス	人数	時間①	希望日時(実施可能な日時を希望順に挙げてください)
	( )年( )～( )組	( )人	( )分間	①令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分 ②令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分 ③令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分

## ▼クラス単位で実施のプログラム

担当教員のご氏名	学年、クラス	人数	時間①	希望日時(実施可能な日時を希望順に挙げてください)
	( )年( )組	( )人	各( )分間	令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分 令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分 令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分 令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分

※クラス単位でのプログラムについては、クラス数により同時に開催できないことがありますので、ご了承ください。

# 令和5年度版「福祉学習の支援」依頼書(詳細)様式①ー1

提出締切日は「手引きP.9」を参照してください。

中学生用

授業時間をご記入ください(必要な部分のみで結構です)

学校名	
電話番号	
FAX番号	
記入者のご氏名	

1時間目	( )時( )分～( )時( )分
2時間目	( )時( )分～( )時( )分
3時間目	( )時( )分～( )時( )分
4時間目	( )時( )分～( )時( )分
5時間目	( )時( )分～( )時( )分
6時間目	( )時( )分～( )時( )分
7時間目	( )時( )分～( )時( )分

プログラム番号	
プログラム名	

## ▼学年単位で実施のプログラム プログラム1～3

担当教員のご氏名	学年、クラス	人数	時間①	希望日時(実施可能な日時を希望順に挙げてください)
	( )年( )～( )組	( )人	( )分間	①令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分
				②令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分
				③令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分

## ▼クラス単位で実施のプログラム プログラム4～5

担当教員のご氏名	学年、クラス	人数	時間①	希望日時(実施可能な日時を希望順に挙げてください)
	( )年( )組	( )人	各( )分間	令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分
	( )年( )組	( )人		令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分
	( )年( )組	( )人		令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分
	( )年( )組	( )人		令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分
	( )年( )組	( )人		令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分
	( )年( )組	( )人		令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分
	( )年( )組	( )人		令和( )年( )月( )日( )時( )分～( )時( )分

※クラス単位でのプログラムについては、クラス数により同時に開催できないことがありますので、ご了承ください。

# 令和5年度版「福祉学習の支援」依頼書(詳細) 様式①-1

提出締切日は「手引きP.9」を参照してください。

高校生用

授業時間をご記入ください(必要な部分のみで結構です)

学校名	
電話番号	
FAX番号	
記入者のご氏名	

1時間目	( )時( )分～( )時( )分
2時間目	( )時( )分～( )時( )分
3時間目	( )時( )分～( )時( )分
4時間目	( )時( )分～( )時( )分
5時間目	( )時( )分～( )時( )分
6時間目	( )時( )分～( )時( )分
7時間目	( )時( )分～( )時( )分

プログラム番号	
プログラム名	

## ▼学年単位で実施のプログラム

担当教員のご氏名	学年、クラス	人数	時間①	希望日時(実施可能な日時を希望順に挙げてください)
	( )年( )～( )組	( )人	( )分間	①令和( )年( )月( )日( )～( )時( )分 ②令和( )年( )月( )日( )～( )時( )分 ③令和( )年( )月( )日( )～( )時( )分

## ▼クラス単位で実施のプログラム

担当教員のご氏名	学年、クラス	人数	時間①	希望日時(実施可能な日時を希望順に挙げてください)
	( )年( )組	( )人	各( )分間	令和( )年( )月( )日( )～( )時( )分 令和( )年( )月( )日( )～( )時( )分 令和( )年( )月( )日( )～( )時( )分 令和( )年( )月( )日( )～( )時( )分

※クラス単位でのプログラムについては、クラス数により同時に開催できないことがありますので、ご了承ください。